

平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	新市合併10周年記念 農産物PR事業
事業主体 (連絡先)	中野市農業総合振興対策協議会 (中野市経済部売れる農業推進室 担当:佐藤 TEL:0269-22-2111)
事業区分	(6)オ その他地域の特色、個性を活かした産業振興、雇用拡大に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,296,000円 (うち支援金: 972,000円)

事業内容

○交流会：中野市産農産物活用メニューを食しながらの交流会

- ・イベント名：中野市合併10周年記念「秋の味覚市フェア」
- ・開催日：平成27年10月10日
- ・会場：アップルシティなかの
- ・来場者数：延べ4,000名
- ・各種メディアとの連携：テレビ朝日「旅サラダ」による全国放送
- ・内容：市内農産物（きのこ類）を活用した大鍋きのこ汁の振る舞い

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

・中野市産農産物を活用した大鍋きのこ汁の振る舞いを行うことにより、地元農産物活用PR効果があった。同時に当イベントを、メディアを通して市内外にPRしたことによって、当市の知名度向上に効果があった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

・地元農産物のPR活動を継続していくことにより、農産物等の消費、販路拡大を図るとともに、当市の知名度向上を推進していく。

(活動写真)



【きのこ汁の振る舞い】

【目標・ねらい】

①農業の活気を他の産業への波及効果となり、地域経済全体の活性化へつなげることを目的として、農産物を主題としたPRを実施する。

※自己評価【A】

【理由】

想定以上の来場者があり、地元農産物のPRに大きな効果があった。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある